

名称 HELCOM (Baltic Marine Environment Protection Commission/Helsinki Commission)

日本語名 バルト海洋環境保護委員会

親機関 ヘルシンキ委員会

住所 Mannerheimintie 12A, SF-00100, Helsinki

国名 FINLAND

電話 358-90-602-366

ファックス 358-90-644-577

---

1. タイプ：国際モニタリング計画

2. 地理的範囲：北欧諸国

3. 目的

1979年以降、ヘルシンキ委員会（HELCOM）は水文、化学・生物学的調査を含むバルト海モニタリング計画（BMP: Baltic Monitoring Programme）を実施している。BMPの目的は、バルチック海の生態系の特定生物の長期的変化を追跡することである。BMPのデータはフィンランド水・環境庁（National Board of Water and the Environment）のEDC（Environmental Data Center）で管理されているHELCOMのデータベースに収集・蓄積されている。

1983年以降、大気汚染のモニタリングデータが集積されてきた。HELCOM-EGAP計画の観測の目的は、バルト海に関係した沈降物と大気中濃度のデータを集積することであり、大量に沈積する物質のインベントリを整備することである。

EGAPデータはEMEP-CCCとの合意により、ノルウェー大気研究所（NILU: Norwegian Institute for Air Research）の化学物質調整センター（CCC: Chemical Coordinating Center）のHELCOMデータベースに収集され、蓄積されている。

放射性物質及び安定同位体データ（HELCOM MORS データ）は収集され、HELCOMデータバンクに保存されている。海水、底泥、生物体内のセシウム（134+137）とストロンチウム（91）が定期的に測定される。海水中のトリチウム、ルテニウム（103+106）、沃素（131）、テルリウム（13）と底泥中のカリウム（40）プルトニウム（239+240）、アメリウム（241）が部分的に測定されている。

4. データ管理

現在のHELCOMデータについては、委員会に一旦集められ、蓄積され、評価された後、全ての関連政府機関で利用可能である。関連機関は、科学的調査等において他の関連機関によって報告されたデータ及び共同アセスメント報告におけるこれらのデータを利用でき、さらに一般利用の慣例に従って、データ提供の許可を行っている。定量的な評価結果の公表の後、データがすべての利用者に利用できることになる。この慣例をもとにBMPデータは1988年まで、EGAPデータは1990年までのデータが利用できる。データ関連費用はコンサルタントと合意しなければならず、HELCOMはその任にない。

5. 協力関係： ---

6. 参考文献

HELCOM, 1991: Baltic Sea Environment Proceedings, No. 37, Activities of the Commission, 1990.

HELCOM, 1991: Baltic Sea Environment Proceedings, No. 39, Airborne Pollution Load to the Baltic Sea 1986-1990.

HELCOM, 1991: Guideline for the Baltic Monitoring Programme for the third stage Part D, Biological Determinants.